

令和2（2020）年度事業計画書（案）

（2020年4月1日～2021年3月31日）

特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

I. 事業の実施方針

令和2（2020）年度事業計画は、電話相談事業を引き続き円滑な運営を行うこと、相談技術の向上、一部修正した受付ソフトの入力やデータ処理の充実を目標とする。さらに、今後の大阪府における小児救急医療や子育てに貢献できるよう、体制の強化や他団体と連携して活動する。

目標を以下の3点に集約する。

1. 電話相談事業の充実を図る
2. 電話相談からの知見を活用し、小児救急に関する啓発を行う
3. NPO 法人としての活動を強化する

II. 事業の実施に関する事項

（1）小児救急等に関する相談事業

①大阪府小児救急電話相談（#8000）事業

【内 容】民間会社からの委託を受け、大阪府民を対象に夜間12時間の小児救急電話相談業務を円滑に遂行する。状況に応じて、時間枠拡大を検討する。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所において実施。

【実施日時】通年夜間12時間

【事業の対象者】保護者など

【収 入】35,503千円（委託料35,503千円）

【支 出】35,503千円（人件費30,822千円、印刷製本費10千円、謝金500千円、通信費200千円、消耗品費51千円、法定福利費300千円、公租公課2,000千円、雑費1,620千円）

②相談受付票の電子化事業

【内 容】修正を行った電子化相談受付票の点検・修正を行い、より実用的なものを目指すと共に、相談員の入力能力向上、事務局におけるデータ処理能力の向上を目指す。

【実施日時】年間を通じて行う

【事業の対象者】事務局、相談員および相談対象の保護者

【収 入】10千円（委託料10千円）

【支 出】10千円（印刷製本費10千円）

③データ集計事業

【内 容】電子化により、事務局で月々のデータ集計を行い、委託事業者に報告する。

【実施日時】年間を通じて行う

【事業の対象者】事務局

【収 入】500千円（委託料500千円）

【支 出】500 千円（人件費 480 千円、印刷製本費 20 千円）

（2）普及啓発事業

①小児救急電話相談に関する普及啓発事業

【内 容】ホームページの充実に務める。また、大阪府内の小児救急医療関係者の連携を図る。
昨年度は意見交換会を行ったが、感染症対策で多忙であることと担当者と代表が随時連絡
を取れるようになったため、意見交換会は次年度開催を目指す。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所において実施。

【実施日時】通年

【事業の対象者】保護者・小児医療従事者・その他小児医療に関わる者・他の電話相談機関

【収 入】206 千円（委託料 206 千円）

【支 出】206 千円（人件費 50 千円、印刷製本費 80 千円、謝金 50 千円、通信費 26 千円）

②小児救急に関する講座・講師派遣事業

【内 容】保護者対象の講座を、可能な範囲で行う。ホームページを通じて啓発内容を提示する。
その他、電話相談や保護者の家庭看護力向上に向けた講演・講座に講師を派遣する。

【実施場所】大阪府内公共施設など

【実施日時】通年

【事業の対象者】保護者・小児医療従事者・その他小児医療に関わる者

【収 入】150 千円（講師謝金 50 千円×3 回）

【支 出】0 千円

③クリニック対象に、保護者指導に関する冊子作成

【内 容】保護者が日中に受診する際保護者が自主的に質問するための質問表と、医療機関側が
保護者の質問に対しわかり易い説明のための応答集や啓発講座の手引き、クリニックで
の電話対応の内容を盛り込んだ冊子を作成し、出版を検討する。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所

【実施日時】出版社に依頼保留中。9 月以後に再検討を行う。

【事業の対象者】小児医療従事者

【収 入】60 千円

【支 出】20 千円（印刷製本費 10 千円、通信費 5 千円、消耗品費 5 千円）

（3）人材養成事業

①電話相談員研修事業

【内 容】大阪府#8000 相談員を対象とした電話相談の研修を、別表に示すように年間 6 回
当初企画していたが、COVID-19 感染防止のため、可能な範囲で実現を目指す。
2 回分の費用を、研修用電話機セットレンタルと PC 購入に充て、研修に活用する。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所・大阪府教育会館など

【実施日時】4 回（約 2 か月に 1 回予定）

【事業の対象者】電話相談員・その他小児医療に関わる者

【収 入】410 千円（委託料 410 千円）

【支 出】410 千円（旅費交通費 20 千円、印刷製本費 60 千円、消耗品費 100 千円、
場所代 40 千円、備品代 190 千円）

②電話対応スキルアップ研修事業

【内 容】昨年度同様の内容で、可能であれば、大阪府内1箇所動で、広く小児科医療機関の電話対応の向上を図る。

【実施場所】一般会議室（新大阪）

【実施日時】年間1回

【事業の対象者】小児医療従事者

【収 入】60千円（参加費3千円×20人×1回）

【支 出】50千円（印刷製本費5千円、謝金10千円、通信費5千円、場所代30千円）

（4）調査・研究事業

①電話相談内容の分析事業

【内 容】小児救急電話相談実績報告書において、年間の電話相談内容の分析を行い、まとめを作成する。また、相談内容からテーマを設けて分析を行い、学会発表や論文作成を行う。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所など

【実施日時】通年・学会は開催される学会を検討

【事業の対象者】小児医療従事者・その他小児医療に関わる者

【収 入】440千円（委託料440千円）

【支 出】440千円（人件費240千円、印刷製本費200千円）

Ⅲ. 事務局管理に関する事項

【内 容】法人事業運営に必要な事務局作業を行う

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所・NPO 法人さぼネット事務所など

【実施日時】通年

【事業の対象者】NPO 法人サボネットに関わる者

【収 入】1,707千円（年会費200千円、委託料1,507千円）

【支 出】1,570千円（人件費1,300千円、印刷製本費5千円、通信費5千円、消耗品費5千円、公租公課250千円、雑費5千円）